

.....
館園名 : 石川県九谷焼美術館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

- ・ 2002年04月13日

所在地

- ・ 〒922-0861 石川県加賀市大聖寺地方町1-10-13

公式サイト

- ・ <http://www.kutani-mus.jp>

設立主体

- ・ 石川県

運営主体

- ・ 加賀市

設立目的

- ・ 九谷焼に関する使用を収集・保存及び展示し、その知識の普及及び芸術文化活動の振興発展に寄与するため設立する。

展示概要

- ・ 九谷焼の代表的な様式である「青手」「色絵」「赤絵」の作品にそれぞれ展示スペースを配して常設展示を行う。また、代表的な作家や様式にスポットをあてた企画展示を年間4～5回実施する。

活動概要

- ・ 展示内容や九谷焼作品にちなんだ各種講演会・ギャラリートークなどを実施。
また、普及活動として、月例イベント「月いちコンサート&トーク」を通年で開催する。

延床面積

- ・ 2,165.30 m²

全職員数（常勤職員）

- ・ 7名（2005年01月現在）

年間運営費

- ・ 45,435,000円（2003年度）

総資料点数

- ・ 816点（2004年06月現在）

施設その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：九谷焼美術館解説ボランティア

活動目的・経緯

- ・ 土・日・祝日を中心とした多数の来館者が見込まれる開館日に、館内の展示解説を行う。
美術館開館前の2002年2～3月に養成講座を開設し、開館当初より展示解説の活動を開始する。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 14名（2004年11月現在）
- ・ 男性：3名、女性：11名
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳

ボランティア担当職員（2005年01月現在）

- ・ 部局名称：
- ・ 担当人数：常勤職員 1名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 館内の展示解説活動。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

・

関連する出版物

・

関連するHP

- ・ <http://www.kutani-mus.jp>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・ NPO 法人さろんど九谷
九谷焼を中心とした陶芸にかかわる学習会や講演会、焼き物鑑賞会等の開催、友の会活動、会員向け機関紙の発行、九谷焼美術館における茶房（喫茶店）、ミュージアムショップの運営を行う。

.....

館園名 : 石川県七尾美術館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1995年04月28日

所在地

- ・ 〒926-0855 石川県七尾市小丸山台1-1

公式サイト

- ・ <http://www.city.nanao.lg.jp/nanabi>

設立主体

- ・ 七尾市

運営主体

- ・ 財団法人七尾美術館

設立目的

- ・ 能登地方の芸術的個性を活かし、地方色豊かに芸術文化活動の中核的な役割を果たし、広く開かれた魅力ある美術館とする。

展示概要

- ・ 志野・織部などを中心とした「池田コレクション」150点、能登地方ゆかりの作家作品317点などが中心。
- ・ その他、能登地方に関連する美術品を収集。

活動概要

- ・ 「長谷川等伯展」を毎年開催、七尾出身である等伯の作品を順次紹介。
- ・ その他、「イタリアボローニャ国際絵本原画展」など、国内外を問わず優れた作品を紹介。
- ・ 「長谷川等伯展」図録、美術館だよりを発行。
- ・ 映画上映会、講演会、ワークショップを実施。

延床面積

- ・ 3,050.17 m²

全職員数

- ・ 14名（非常勤職員1名を含む）

年間運営費

- ・ 93,051,600円（平成15年度）

総資料点数

- ・ 467点

その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：

活動目的・経緯

- ・ 1995年4月、活動開始。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 46名（2004年）
- ・ 男性：8名、女性：38名（2004年）
- ・ 平均年齢58歳：男性65歳、女性52歳（2004年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：管理係 担当人数：常勤2名・その他（ ） 名

活動の種類

- ・ ①案内・監視。

活動その他

・

関連する出版物

- ・ 特になし。当館発行の「美術館だより」に、ボランティアさんのコーナーあり。

関連するHP

・

館外組織（NPO等）との連携

・

活動個別シート ①案内・監視

◇活動開始年

- ・ 1995 年

◇活動人数

- ・ 46 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 各展示室入口付近にて監視、チケットの確認、順路の案内、観覧者へのエチケット指導。

◇活動日

- ・ 毎日活動 (休館日を除く)。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 約 800,000 円を計上 (通信費、謝礼、研修旅行費用等)。

◇運営 (シフト 等)

- ・ 館により運営。
- ・ 1 日、または半日単位で監視。
- ・ 1 時間につき、10 分程度の休憩が入るように、ローテーションを組んでいる。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ ボランティア会議を開催。
- ・ 各展示室に、連絡ノートを設置してある。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 不定期に、市公報、美術館たよりなどで呼びかける。
- ・ 資格なし。面接にて選考。
- ・ 定年制、任期制なし。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 館が、ボランティア旅行を実施 (年 1 回、日帰り)。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ 保険に加入している。
- ・ 1 日 (8 時間) 当たり 1,000 円 (昼食代として) の謝礼をしている。
- ・ 監視する展覧会の招待券を、1 人当たり 2 枚配布している。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 希望者が年々減少してきており、日祝日など、入館者が多い日に支障をきたしている。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 石川県西田幾太郎記念哲学館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

- ・ 2002年06月08日

所在地

- ・ 〒929-1126 石川県かほく市内日角井 1

公式サイト

- ・ <http://www.city.kahoku.ishikawa.jp/nishida-museum/>

設立主体

- ・ 石川県

運営主体

- ・ かほく市

設立目的

- ・ 郷土が生んだ哲学者西田幾太郎の遺徳を顕彰するとともに、哲学に関する情報を集積し、これを発信し、もって哲学の普及及び啓発を図るため、市民の精神修養の場として、設置する。
(条例第1条より)

展示概要

- ・ 展示室1「哲学へのいざない」（哲学入門コーナー）。
- ・ 展示室2「西田幾太郎の世界」。
- ・ 展示室3「西田幾太郎の書」。

活動概要

- ・ 哲学講座・出版・講演会等を中心に哲学の普及・及び啓発を行っている。

延床面積

- ・ 2,951.69 m²

全職員数（常勤職員）

- ・ 6名（平成17年01月現在）

年間運営費

- ・ 57,007,799円（2003年度）

総資料点数

- ・ 1,139点（平成14年10月現在）

施設その他

- ・ 約300人収容の哲学ホール。
- ・ 哲学の杜（公園）。
- ・ 研究室×2。
- ・ 敷地外に西田幾太郎書斎（骨清齋^{こっせいくわ}）－昭和49年に京都より移築。
- ・ 図書室。
- ・ 喫茶室。
- ・ 展望ラウンジ。

2. ボランティア活動 名称：哲学館ボランティア

活動目的・経緯

- ・ 世界的哲学者・西田幾太郎の偉業と人となりを伝え、また世界でも珍しい哲学の博物館（設計は建築家安藤忠雄で、建築にも哲学的な工夫が凝らされている）をサポートするために設立。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 24名（平成17年01月現在）
- ・ 男性：4名、女性：20名
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳

ボランティア担当職員（平成17年01月現在）

- ・ 部局名称：特になし
- ・ 担当人数：常勤職員1名・その他（ ）名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ ①展示室ボランティア。
- ・ ②図書室ボランティア。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 現在のところ、中心となっているのは施設案内となっている。
- ・ 建物の設計上、迷いやすいつくりとなっており、順路を案内したり展示物のあつかい方を説明。
- ・ 年1度集会をしている。

関連する出版物

- ・ とくになし

関連するHP

- ・ <http://>（哲学館ホームページ内）

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・ とくになし

活動個別シート ①展示室ボランティア

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2002年

◇活動人数

- ・ 19名（17年01月現在）

◇活動内容

- ・ 展示室の案内。主に順路や展示の扱い方についての案内。
（展示の解説や質問に答える、ということは主に行っておりません）

◇活動日

- ・ 開館日のうち、ボランティア可能な日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ とくになし。

◇運営（シフト 等）

- ・ 前月に活動可能な日を全員に伺い、シフトを組む。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 年に1回、集会を行っている。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 随時募集を行っている。市広報誌やホームページを活用。
- ・ 通うことが可能な方。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 哲学館主催の市民講座に参加をよびかけている。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ ボランティア保険に加入している。（費用は館が負担）

◇評価

- ・ とくになし。

◇課題と展望

- ・ ボランティア員同士の交流・職員との交流が少ないためか、活動に対する新しい提案がうまれない。
- ・ 館スタッフの不足により、館からの新たな活動内容・方法について行動できないのが現状。研修会や勉強会、運営に関する話し合いを重ねていきたいとは考えているが、他業務とのかねあいを考えると職員不足により現状を変えることが難しい。

◇その他

- ・

活動個別シート ②図書室ボランティア

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2002年

◇活動人数

- ・ 13名（17年01月現在）

◇活動内容

- ・ 図書室受付カウンターにて案内。
（貸出処理は館の受付で行う）

◇活動日

- ・ 開館日のうち、ボランティア可能な日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ とくになし。

◇運営（シフト 等）

- ・ 前月に活動可能な日を全員に伺い、シフトを組む。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 年に1回、集会を行っている。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 随時募集を行っている。市広報誌やホームページを活用。
- ・ 通うことが可能な方。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 哲学館主催の市民講座に参加をよびかけている。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ ボランティア保険に加入している。（費用は館が負担）

◇評価

- ・ とくになし。

◇課題と展望

- ・ ボランティア員同士の交流・職員との交流が少ないためか、活動に対する新しい提案がうまれない。
- ・ 館スタッフの不足により、館からの新たな活動内容・方法について行動できないのが現状。研修会や勉強会、運営に関する話し合いを重ねていきたいとは考えているが、他業務とのかねあいを考えると職員不足により現状を変えることが難しい。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 石川県白山自然保護センター 中宮展示館

1. 施設の概要

開館年月日 (西暦)

・ 1973年 07月 04日

所在地

・ 〒920-2324 石川県石川郡吉野谷村中宮(2005年2月より石川県白山市中宮)

公式サイト

・ <http://www.pref.ishikawa.jp/hakusan/index.htm>

設立主体

・ 国 石川県

運営主体

・ 石川県

設立目的

・ 県民をはじめ広く一般に白山の自然をよりよく理解してもらい、自然保護思想を高めてもらう。

展示概要

- ・ 「森に遊ぶ」: 白山のブナ林を疑似体験し、自然との出会い、森の営みや自然の不思議さ、面白さを知ってもらう。
- ・ 「白山と生きる」: 白山麓の人々の暮らしや自然の中で生きる知恵、民話について紹介し、自然と人間とのかかわりについて考えてもらう。
- ・ その他レクチャーホール、ハイビジョンコーナーを設置。

活動概要

- ・ 白山地域の動植物、地質、文化について紹介。
 - ・ いしかわ自然学校山のまなび舎として自然体験プログラムを実施。
 - ・ 普及誌「はくさん」白山の自然誌シリーズの印刷、発行。
- } 中宮展示館としてではなく石川県白山自然保護センターとして実施。

延床面積

・ 1,108.1 m²

全職員数 (常勤職員)

・ 13名 (2003年12月現在) ※石川県白山自然保護センター全体での職員数。

年間運営費

・ 248,384,000円 (2003年度)

総資料点数

・ 10,000点 (1994年8月現在)

施設その他

・

2. ボランティア活動 名称：白山自然ガイドボランティア

活動目的・経緯

- ・ 白山国立公園及びその周辺地域における自然体験活動を活発に推進していくため設置するもので、この自然体験活動が白山に誇れる人々に自然の素晴らしさや大切さ、人と自然との共生について考え、理解してもらい、自然保護のための自主的、主体的行動が出来るように導くものである。2000年6月より始動。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 49名（2004年12月現在）
- ・ 男性：29名、女性：20名
- ・ 平均年齢 52.9歳：男性 54.9歳、女性 45.1歳

ボランティア担当職員（2004年10月現在）

- ・ 部局名称：
- ・ 担当人数：常勤職員 1名・その他（ ） 4名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 石川県白山自然保護センターが実施する野外、屋内での自然体験プログラムの実施。
- ・ 石川県白山自然保護センター関連施設での自然解説や自然情報の収集、提供。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 館により運営。日程調整などを行う。
- ・ 研修講座の開催。

関連する出版物

- ・ なし

関連するHP

- ・ <http://>
なし

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・

活動個別シート 活動名：①野外、屋内での自然体験プログラムの実施

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2000 年

◇活動人数

- ・ 18 名（2003 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ 石川県白山自然保護センターが実施する野外、屋内での自然体験プログラムでのスタッフとして、参加者の指導などを行う。

◇活動日

- ・ 2003 年度は 6 回。5/11、6/1、6/8、9/20、10/19、10/26。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ボランティア室がある。
- ・ 活動に必要な備品の貸し出し。

◇運営（シフト 等）

- ・ 4 月に希望調査を行い、調整する。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 年 3 回の研修講座に交流。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 不定期。新聞、ホームページなどに募集案内を出して募集する。
- ・ 定年制なし。2 年ごとに登録更新。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 事前研修(職員他外部講師による)後にボランティア登録。
- ・ その後毎年 3 回程度の研修を行っている。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 全員ボランティア保険に加入している(費用は県が負担)。
- ・ 交通費のみ定費で支給。

◇評価

- ・ 特になし

◇課題と展望

- ・ 登録者が少しずつ減少してきている。

◇その他

- ・

活動個別シート 活動名：施設での自然解説や自然情報の収集、提供

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2000 年

◇活動人数

- ・ 延べ 47 名（2003 年 12 月現在） 中宮展示館のみ

◇活動内容

- ・ 石川県白山自然保護センターの関連施設での自然開設(館内外)と自然情報の収集、提供。
- ・ 手作りによる展示物の製作など。

◇活動日

- ・ 2003 年は 7 月～11 月上旬の土日を中心に 30 日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ボランティア室がある。
- ・ 活動に必要な備品の貸し出し。

◇運営（シフト 等）

- ・ 4 月と 7 月に希望調査を取り、日程調整。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 年 3 回の研修講座に交流。
- ・ 活動日誌の記入。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 不定期。新聞、ホームページなどに募集案内を出して募集する。
- ・ 定年制なし。2 年ごとに登録更新。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 事前研修(職員他外部講師による)後にボランティア登録。
- ・ その後毎年 3 回程度の研修を行っている。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 全員ボランティア保険に加入している(費用は県が負担)。
- ・ 交通費のみ定費で支給。

◇評価

- ・ 特になし

◇課題と展望

- ・ 登録者が少しずつ減少してきている。

◇その他

- ・ 参加者は年々増加してきている。

.....

館園名 : 泉鏡花記念館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

- ・ 1999年11月14日

所在地

- ・ 〒920-0964 石川県金沢市尾張町 2-12-7

公式サイト

- ・ <http://www.city.kanazawa.ishikawa.jp/bunho/ikkinen>

設立主体

- ・ 金沢市

運営主体

- ・ 財団法人 金沢文化復興財団

設立目的

- ・ 鏡花の生家跡地で、幻想的で人情味あふれる作品や生れ育った環境。
- ・ 鏡花本人の魅力などを体感していただくため。

展示概要

- ・ 「第1展示室」では、演劇や映画のスチール写真や初版本の挿絵などの装丁美。
- ・ 「第2展示室」では、旅行鞆やステッキなどの遺愛品の数々やサウンドコーナー。
- ・ 「第3展示室」では、年間3回程度ユニークなテーマでの企画展を楽しむことができます。

活動概要

- ・ 図録、館報などを発行する予定。

延床面積

- ・ 431.09 m²

全職員数（常勤職員）

- ・ 5名（2004年12月現在）

年間運営費

- ・ 非公開 円（2003年度）

総資料点数

- ・ 1,500点（2004年12月現在）

施設その他

- ・ 特になし

2. ボランティア活動 名称：泉鏡花記念館 解説ボランティア

活動目的・経緯

- ・ 記念館内の展示品の解説のみ。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 16名（2004年04月現在）
- ・ 男性：4名、女性：12名
- ・ 平均年齢60歳：男性65歳、女性58歳

ボランティア担当職員（2004年12月現在）

- ・ 部局名称：
- ・ 担当人数：常勤職員1名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ ボランティア交流会の実施。
- ・ ボランティア研修の案内を発送する。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 館により運営。ただし時間、曜日等は特に決めずに自由に参加してもらっている。

関連する出版物

- ・ 無し

関連するHP

- ・ <http://> 無し（ボランティアに関するページはないため）

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・ 無し。

.....

館園名 : 金沢蓄音器館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・ 2001 年 07 月 14 日

所在地

・ 〒 920 -0902 石川県金沢市尾張町 2-11-21

公式サイト

・ <http://www.city.kanazawa.ishikawa.jp/bunho/chikuonki/>

設立主体

・ 金沢市

運営主体

・ 財団法人 金沢文化振興財団

設立目的

・蓄音器を通じて、訪れる人々に時間を超え空間を越えて音のたびへと誘うミュージアムとして、近隣の泉鏡花記念館とともに、浪漫的町尾張町の文化ゾーンを形成するため設立した。

展示概要

・(株) ヤマチク八日市屋浩志会長から譲り受けた蓄音器約 540 台と S P レコード約 2 万枚という有数のコレクションを有する。蓄音器やレコードコレクションを展示している。

活動概要

・ 毎日 3 回、(11 時、14 時、16 時) 実際に数種類の蓄音器で SP 盤の音色を聴き比べる実演を実施。毎月数回、SP 盤鑑賞会を開催。コンサートホールは多目的ホールとして、持ち込みのコンサートも可能。ミュージアムショップなど。

延床面積

・ 618.58 m²

全職員数（常勤職員）

・ 6 名（ 2005 年 1 月現在）

年間運営費

・ 18,800,000 円（2003 年度）

総資料点数

・ 20,540 点（ 2005 年 1 月現在）蓄音器約 40 台、SP レコード 20,000 枚

施設その他

・

2. ボランティア活動 名称：なし

活動目的・経緯

- ・なし

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 1 名（ 2005 年 1 月現在）
- ・ 男性： 1 名、女性： 名
- ・ 平均年齢 歳：男性 70 歳、女性 歳

ボランティア担当職員（ 2005 年 1 月現在）

- ・ 部局名称： 金沢蓄音器館
- ・ 担当人数：常勤職員 1 名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 展示解説。
- ・ 展示品の修理・メンテナンス。
- ・
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・なし

関連する出版物

- ・なし

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・なし

活動個別シート① 活動名：展示解説

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2001 年

◇活動人数

- ・ 1 名（ 2005 年 1 月現在）

◇活動内容

- ・ 常設展、蓄音器聴き比べ実演の解説を行う。
- ・ 特別鑑賞会のサポートを行う。

◇活動日

- ・ 不定期。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ なし

◇運営（シフト 等）

- ・ なし

◇交流（情報、組織 等）

- ・ なし

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ なし

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 職員による解説。内容についての研修。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ ボランティア保険に加入。

◇評価

- ・ なし

◇課題と展望

- ・ なし

◇その他

- ・ なし

活動個別シート② 活動名：展示品の修理・メンテナンス

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2001 年

◇活動人数

- ・ 1 名（ 2005 年 1 月現在）

◇活動内容

- ・ 展示品（主に蓄音器）の修理・メンテナンスを行う。

◇活動日

- ・ 不定期。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 修理用作業場がある。

◇運営（シフト 等）

- ・ なし

◇交流（情報、組織 等）

- ・ なし

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ なし

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 技術者による研修。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ ボランティア保険に加入。

◇評価

- ・ なし

◇課題と展望

- ・ 専門的な技術を要するため、広く募集できない。

◇その他

- ・ なし

館園名 : 北前船の里資料館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・1983年10月08日

所在地

・〒922-0554 石川県加賀市橋立町イ乙1の1

公式サイト

・<http://>

設立主体

・加賀市

運営主体

・(財)加賀市地域振興事業団

設立目的

・石川県加賀市には、江戸時代中頃から明治時代終わりにかけて、日本海を舞台に活躍した北前船の基地が3ヵ所（橋立、塩屋、瀬越）あり、これらの町には今なお多くの北前船に関する資料や邸宅が残されている。こうした資料等を永く保存・展示し、その知識の普及を図るために設立するものである。

展示概要

・明治9年に建てられた旧北前船主の邸宅を資料館として一般公開している。最高級の材料を用い、贅を尽くした内装は往時の北前船の隆盛を感じることができる。また、邸内や土蔵を利用した展示室には、船模型や船内用具、生活資料などを展示し、北前船の歴史について学習できる。

活動概要

・

延床面積

・951.89㎡

全職員数（常勤職員）

・0名（2005年1月現在）

年間運営費

・約10,000,000円（2003年度）

総資料点数

・約1,500点（2005年1月現在）

施設その他

・町並み景観保存と関係して、資料館建物の保存・補修について検討中である。

2. ボランティア活動 名称：北前船の里資料館解説ボランティア

活動目的・経緯

- ・平成8年、加賀市博物館解説ボランティア養成講座修了生（3コース24名）をもって、登録ボランティアとした。その後、修了生自ら運営する、生涯学習サークルとして活動し、現在に至る。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・2名（2005年1月現在）
- ・男性：1名、女性：1名
- ・平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳

ボランティア担当職員（2005年1月現在）

- ・部局名称：加賀市役所地域支援部住民協働課
- ・担当人数：常勤職員 名・その他（その館には常駐していない）1名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・資料館内の解説。
- ・
- ・
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・特になし。

関連する出版物

- ・特になし

関連するHP

- ・http://

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・特になし。

活動個別シート 活動名：①館内解説

◇活動開始年（西暦）

- ・1996年

◇活動人数

- ・2名（2005年1月現在）

◇活動内容

- ・館内及び展示品の解説を行う。

◇活動日

- ・特に定めていない（団体などより申し入れのあった日）。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ボランティア保険料を市が負担。

◇運営（シフト 等）

- ・その日出られる者が解説を行う。

◇交流（情報、組織 等）

- ・特になし。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・特に定めていない。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・事前に研修をうけ解説を行う。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・全員ボランティア保険に加入している（費用は市が負担）。

◇評価

- ・特になし。

◇課題と展望

- ・新規ボランティアを養成する必要がある。地域住民への呼びかけ・募集も大切である。

◇その他

- ・特になし

.....

館園名 : 小松市立宮本三郎美術館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

- ・ 2000年11月01日

所在地

- ・ 〒923-0904 石川県小松市小馬出町5

公式サイト

- ・ <http://www.msm.gr.jp>

設立主体

- ・ 小松市

運営主体

- ・ 小松市

設立目的

- ・ 小松市出身の洋画家宮本三郎の画業を顕彰する。

展示概要

- ・ 宮元作品を通じて、様々な切り口で紹介。

活動概要

- ・ 展覧会(年4回 特別展1回)。
- ・ 普及活動。

延床面積

- ・ 1,272.79 m²

全職員数（常勤職員）

- ・ 4名（2004年12月現在）

年間運営費

- ・ 30,000,000円（2003年度）

総資料点数

- ・ 約130点（2004年12月現在）

施設その他

- ・ 情報コーナー
- ・ 講義室
- ・ 喫茶

2. ボランティア活動 名称：監視ボランティア

活動目的・経緯

- ・特別展開催中に作品の監視を行ってもらうために、平成 13 年より毎年広報を使って公募。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 19 名（2004 年 11 月現在）
- ・ 男性： 2 名、女性： 17 名
- ・ 平均年齢 60 歳：男性 60 歳、女性 60 歳

ボランティア担当職員（ 年 月現在）

- ・ 部局名称：
- ・ 担当人数：常勤職員 名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・
- ・
- ・
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・

関連する出版物

- ・

関連するHP

- ・ http://

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・

活動個別シート 活動名：①監視ボランティア

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2001 年

◇活動人数

- ・ 19～25 名（2004 年 11 月現在）

◇活動内容

- ・ 作品の監視。

◇活動日

- ・ 特別展会期中。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ なし

◇運営（シフト 等）

- ・ 館員が参加者の希望を聞いて調整。

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 広報。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 説明会開催(会期開始までに 1 回)。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 会期終了後、1 年間有効のフリーパスのカードを発行。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 個人の都合での休みが多いので、ローテーションがうまく回らない。

◇その他

- ・